



# 肝ぞう通信

第 1 号 《C型肝炎について》

## お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院 1 階  
総合相談室

受付時間：  
平日 9：00～15：00  
土曜日 9：00～12：00  
(第 2・4 土曜日除く)

## 豆知識

- C型肝炎を放置すると、肝硬変、肝臓がんになる可能性があります。
- C型肝炎はDAAと呼ばれる飲み薬で治せます。
- 一生に一度は肝炎検査を受けましょう。

## 次回号

テーマ：肝臓がん  
10月1日発行予定

## 発行責任者

東海大学医学部付属病院  
肝疾患医療センター長  
加川 建弘

## 肝ぞう通信発刊！

東海大学医学部付属病院肝疾患医療センターでは、これまで月に1回「肝臓病教室」「みんなの肝臓病講座」を開講し、直接皆様に、肝疾患の様々な情報をお伝えしてきました。しかし、新型コロナウイルスの蔓延に伴い、これまでのような人が集まる講演会は感染のリスクがあるため、開講することが困難となって参りました。そこで、月2回程度、肝疾患の様々なテーマについて、それぞれの専門家に執筆頂いて、皆様に届けることにいたしました。第一回目はC型肝炎についてご紹介します。



## C型肝炎の治療の進歩(図参照)

C型肝炎は症状があまりないため、知らない間に肝硬変や肝臓がんになることがある注意すべき病気です。C型肝炎の治療といえば、昔はインターフェロンが主で、発熱、頭痛などの副作用が多い上に治療効果も今一つでした。副作用を恐れて、治療を敬遠される患者